



多様性社会

ダイバーシティ

社会の急速な少子高齢化、グローバル化等により、人々の考え方やあり方は、現代社会では多様化しています。そうした社会情勢を背景に、「多様な人々が共存、共生できる社会の創造という理念を表す言葉」として「ダイバーシティ（多様性）」という言葉が用いられるようになりました。多様性を尊重する社会を「多様性社会」と呼びます。

同一性を重んじ、多数派に合わせて均質な社会を創ることを目指すのではなく、一人ひとりが異なるという異質性を前提に、多様なあり方を尊重し、それぞれのニーズに合わせて調整しながら協働することにより新たな創造性を生み出して社会の発展を目指していくというのが、多様性社会の考え方です。*1

多様な私、多様なあなた

人はそれぞれ、人種や性別、年齢、障がいの有無、国籍、職業、ライフスタイル、家族構成などさまざまな違いがあって、それらの違いが合わさってその人の個性を作っています。その個性を作る一つひとつの要素もそれぞれに濃淡があり、多様です。同じように見えても、誰一人

として同じ人は存在せず、同じ状況で生きている人はいないのです。私もあなたも、一人ひとりみんな異なっているけれど、すべての人の貴さとその存在の価値の重さは平等なのです。*2

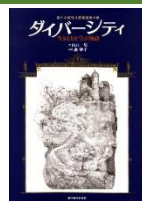
みんな違ってみんな尊い社会

こうしたダイバーシティ（多様性）の考え方は、外来語であることもあいまって、外国から取り入れた新しい考え方と思われ、少し難しく感じられるかもしれません。しかし、多様性を尊ぶ考え方は、日本でもなじみのある考え方です。たとえば、多くの日本人が愛する、明治生まれの詩人、金子みすゞの詩「私と小鳥と鈴と」*3にもその精神が現れています。「みんな違ってみんないい」——それぞれの個性を認め合い、称え合い、生かす世界です。これまでの社会の主流派だけでなく、すべての人がそれぞれに社会の中で居場所を持ち、個性を発揮して、自分らしく生きられる社会、そうした社会を作っていきたいですね。

- *1…森田ゆり『ダイバーシティ・トレーニング・ブック 多様性研修のてびき』3頁（解放出版社 2009年）
- *2…同上 5-6頁
- *3…金子みすゞ『さみしい王女』145頁（JULA出版局 1984年）

【役立つ3冊をご紹介します】

※市内図書館&すくらむ21で読めます&借りられます。

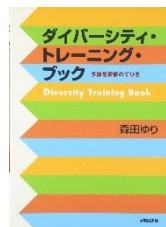


社会学者が書いたダイバーシティの意味を教える物語

『ダイバーシティ 生きる力を学ぶ物語』

個人にとってのダイバーシティの意味を教えるファンタジー小説『6つボタンのミナとカズの魔法使い』と、社会にとってのダイバーシティの意味を教える教育劇『ライオンと鼠』を収録。気軽に読み進めながらダイバーシティに関する社会学の理論を学ぶことができる。

著：山口一男
出版：東洋経済新潮社、2008年



研修担当者にお勧め。ダイバーシティの基本概念がよくわかる1冊

『ダイバーシティ・トレーニング・ブック

多様性研修のてびき』

企業や行政等の職場でダイバーシティに関する研修を行う際に参考になる1冊。ダイバーシティの基本概念とともに参加型研修の組み立て方を説明し、職場でのダイバーシティ推進に関して必要な各種トレーニング（リーダーシップの取り方、アサーティブなコミュニケーションの仕方、ハラスメント防止等）について、ねらい、目的、研修の流れ、ワークシート、参考資料等を具体的かつコンパクトに提示している。

著：森田ゆり
出版：解放出版社、2009年



経営戦略としてダイバーシティを学びたい方に

『ダイバーシティ経営処方箋

男・女・高齢者・障がい者・外国人 ~多様性を力に』

少子高齢化による人材難や多様化する顧客ニーズ等に対応するため、企業は多様な属性や価値観を持った人材を確保し、それぞれの能力を最大限発揮させるダイバーシティ経営を求められている。本書は、経営戦略としてのダイバーシティを自社で導入するための計画立案や実施、業務改善の方法を提示し、8つの企業、組織の実例を紹介している。

著：油井文江
出版：公益社団法人全国労働基準関係団体連合会、2014年

すくらむ 21
館長推薦!

絵本の紹介 生きることと学ぶこと



「翻訳できない 世界のことば」



この世界にはいったいどのくらいの言語があるのでしょうか。もちろん今使われている言語もあれば、すでに使われなくなってしまった言語もあります。一つの言語を取り上げてみても、今も使われている言葉もあれば、今は使われなくなってしまった言葉もあります。世界がダイバーシティであれば、もちろん言語や言葉もダイバーシティそのものです。

「あれ！この本って何？翻訳できない言葉なんてあるの？」これが最初の感想でした。例えば『りんご（日本語）=apple(英語)』ですが、『ポケっと（日本語）』を英語に訳すとどうなるのでしょうか。どうやら一つの英単語では言い表せないようです。そのような言葉をく翻訳できない」と言い表しています。世界に冠たる英語でも（第一言語を母語ではなく英語にする国も出てきていますが）、すべてを網羅するというわけにはいかないようです。それぞれの国の文化や歴史の中で生まれてきた言葉は、本当に多様性（ダイバーシティ）に富んでいることをあらためて認識できる楽しい本・学べる本でした。

私がこの本で出会った言葉の中でお気に入りを紹介しましょう。

ubuntu ウブントウ スズルー語 名詞
【人の優しさをあらわす】

じいナース ウルドゥー語 名詞
【誰かに無条件に愛されることによって生まれてくる、自信と心の安定】

Waldeinsamkeit ヴァルトアインザームカイト ドイツ語 名詞
【森の中で一人、自然と交流するときのゆったりした孤独感】

कल्प カルパ サンスクリット語 名詞
【宇宙的なスケールで、時間が過ぎてゆくこと】

取り上げられている単語の説明は著者独自の感性により解釈されたものです。著者は20代の女性で、彼女の手によるイラストもステキです。彼女の“感性”に脱帽です。



著：エラ・フランシス
・サンダース
出版：創元社 2016年

すくらむ 21 10~12月の新入荷書籍 ※すくらむ 21 で読めます&借りられます。

ダイバーシティ・トレーニング・ブック 多様性研修のてびき
著者：森田ゆり 出版社：解放出版社

いつ大災害が起きても家族で生き延びる
著者：小川光一 出版社：ワニブックス

ダイバーシティ経営戦略 4
編著：経済産業省 出版社：経済産業調査会

女たちが動く：東日本大震災と男女共同参画視点の支援
編著：みやぎの女性支援を記録する会 出版社：生活思想社

多様性を活かすダイバーシティ経営—実践編
著者：荒金雅子 出版社：日本規格協会

大震災と子どもの貧困白書
編著：「なくそう!子どもの貧困」全国ネットワーク
出版社：かもがわ出版

N女の研究
著者：中村安希 出版社：フィルムアート社

BIOCITY ビオシティ 67号 災害とジェンダー
監修：糸長浩司 出版社：ブックエンド

おひとりさまの最期
著者：上野千鶴子 出版社：朝日新聞出版

嫁ハンをいたわってやりたい ダンナのための妊娠出産読本
著者：荻田和秀 出版社：講談社

女性活躍「不可能」社会ニッポン
著者：渋谷龍一 出版社：旬報社

男性の非暴力宣言
著者：多賀太・伊藤公雄・安藤哲也 出版社：岩波書店

結婚と家族のこれから
著者：筒井淳也 出版社：光文社

祖父、ソフリエになる
編著：NPO エガリテ大手前 出版社：メディカ出版

マタハラ問題
著者：小酒部さやか 出版社：筑摩書房

祖父母に孫をあずける賢い100の方法
編著：棒田明子 出版社：岩崎書店

せかいいちのねこ
著者：ヒグチユウコ 出版社：白泉社

男が働かない、いいじゃないか!
著者：田中俊之 出版社：講談社

ちいさなあなたへ
著者：アリスン・マギー 出版社：主婦の友社

川崎市男女共同参画センター（すくらむ 21）

すくらむ 21

検索

<http://www.scrum21.or.jp/>

〒213-0001 川崎市高津区溝口 2-20-1 電話：044-813-0808 FAX：044-813-0864



携帯はこちらから